

科目名：成人歯科学Ⅰ＜歯周＞ (Periodontology) 履修年次/時期：1 年次 後期 授業形態：講義 担当教員：長谷 徹（実務経験有）、角田 晃（実務経験有）		必 1 単位
学修目的	一般目標として、成人歯科学Ⅰ＜歯周＞では、歯周治療の全体像を学び、治療の流れを理解して歯科衛生士業務の意義を理解し、さらに、歯周治療における歯科衛生士の役割の重要性をしっかりと認識してもらうことで、歯周治療の一翼を担える優れた歯科衛生士となることを目指します。 なお、この科目のDPは DP 2- (2)、CPは 2、3 に関連する。科目 No. S1C09H21	
到達目標	1. 歯周病の種類と病態を説明できる。 2. 歯周病のリスクファクターを説明できる。 3. 歯周病に関する指数を算出し、説明できる。 4. 歯周病に必要な口腔内診査の種類と方法を説明できる。 5. 歯周病の基本治療の重要性を理解し、説明できる。 6. 歯周外科治療の種類と療法の目的について説明できる。 7. 固定法、根分岐部病変の治療について説明できる。 8. 歯周治療後の再評価について説明できる。 9. メインテナンス、サポートタイプ・ペリオドンタル・セラピーの重要性を理解し、説明できる。	
授業概要	成人歯科学Ⅰ＜歯周＞は歯科保存学の中の歯周治療学がテーマです。歯周とは歯の周（まわり）、一般に歯茎といわれているところで、その部分の病気が歯周病です。授業ではこの歯周病の診断、治療、そして予防について学びます。歯周病は現在、日本の成人では 8 割以上の方が何らかの歯周疾患に陥っていると報告されており、克服しなくてはならない国民病のひとつとなっています。しかも、歯周病の治療・メインテナンスさらには予防において、歯科衛生士の役割は大変大きく、医療現場で中心となって活躍することが期待されています。	
評価方法	筆記試験（90%）、授業態度・課題への取り組み（10%）の総合評価 試験に対するフィードバックは掲示で行う。	
予習・復習時間	【予習】0.5 時間 【復習】0.5 時間	
教科書	最新歯科衛生士教本 歯周病学（第 2 版） 医歯薬出版	
参考書	歯周病治療の基礎と臨床 第 2 版 永末書店 臨床歯周病学 第 2 版 医歯薬出版	
問い合わせ連絡先	長谷：月・水・金 12:10～12:50 16:00～17:30 4 号館 2F 長谷研究室・臨床基礎統合ゼミ準備室 nagatani@kdu.ac.jp 角田：月一金 16:30～17:00 4 号館 2F 角田研究室 tsunoda@kdu.ac.jp 不在時はメールでお願いします。	